

# 三王山南塚古墳(下野市)

正面の切通しの右手が三王山南塚2号墳、左手が三王山南塚1号墳



右手の三王山南塚2号墳を見たところ



左手の三王山南塚1号墳を見たところ



切通しに立つ説明板/背後が三王山南塚2号墳/栃木県内最古級(4世紀代)の前方後方墳/この台地の南端部では、弥生時代後期の竪穴式住居や小規模な方墳が古墳と重なり合っていることが分かっており、弥生時代から古墳時代前期にかけて連続と土地が利用されたことを物語っていると云う



## 三王山南塚古墳(一・二号墳)

田川の東、南北に伸びる台地上に残る古墳群の南端部、三王山南塚古墳は、道路をはさんで東側を1号墳、西側を2号墳と呼ぶいずれも四世紀代、古墳時代前期に造られた前方後方墳である。

1号墳は墳丘全長約四六m、後方部幅約二六m、前方部幅約二〇m。2号墳は全長約五〇m、後方部幅約二九m、前方部幅約二〇mであり、いずれも周溝が巡らされている。

特に2号墳は前方部が撥形に広がった極めて珍らしい造で、現在のところ県内で最古の古墳の一つに推定されている。

埋葬施設は残念ながら破壊を受けており確認出来ず、副葬品等についても不明ではあるが、周溝の調査から壺形土器等が多数出土している。

三王山南塚1号墳



1号墳出土の壺

三王山南塚2号墳



2号墳出土の高杯

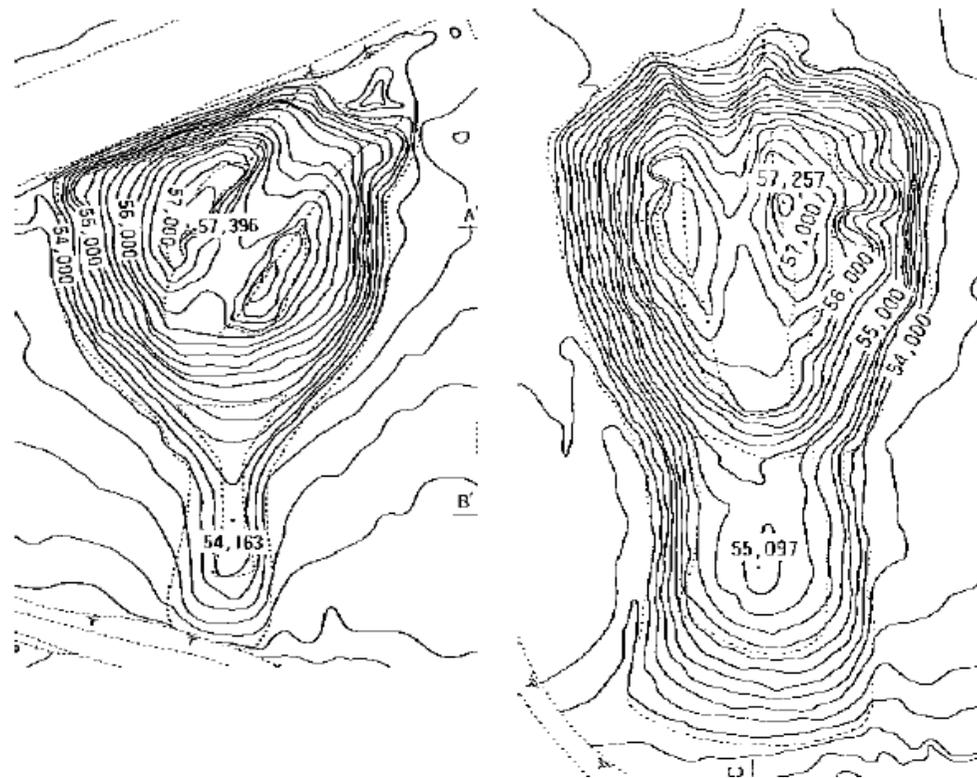
平成四年三月

下野市教育委員会

左手が三王山南塚2号墳、右手が三王山南塚1号墳



左手が三王山南塚2号墳、右手が三王山南塚1号墳



※いずれも下野市ホームページより

三王山南塚2号墳を見たところ/藪と化している/前方部が撥形に広がった極めて珍しい古式の造り



振り返って反対側にある三王山南塚1号墳を見たところ/2号墳に続いて造られた4世紀代の前方後方墳



切通しを抜けて、振り返って見たところ/左手が三王山南塚2号墳、右手が三王山南塚1号墳



そこで左手(2号墳)を見たところ



同じく右手(1号墳)を見たところ



少し退いて三王山南塚2号墳を見たところ



同じく、三王山南塚1号墳を見たところ



参考ホームページ

<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/manage/contents/upload/58218426598de.pdf>

<http://www.shimotsuke-bunkazai.com/culturalassets.php?id=32>

<http://10.pro.tok2.com/~a11234842/976.sannoukohunn.html>

